

はるか

ha ru ka

VOL.15
2005.10

特集/親だけでなく、社会全体で担う

- ・トピックス『2005 男女共同参画フォーラム in あいち』
- ・DVってなに?!
- ・いきいきピープル
- ・ジェンダーエッセイ『はるか』な声
- ・インフォメーション



特集

haruka

～親だけでなく、社会全体で担う～

子育ては母親だけの仕事？

核家族化、少子化の今、子どもを取り巻く環境が大きく変化しています。向こう三軒両隣のお付き合いは希薄になり、子育て中の若い父母へのアドバイスも少なくなっています。果たして子育ての現場ではどうなのか？ げんきっ子センター〈子育て子育て総合支援館〉の館長にお話をうかがってきました。

まず、げんきっ子センターの概要を教えてください

当館は、平成14年11月に開設され、子どもの安全な遊び場所の確保、子育てへのアドバイス、情報提供などを主に、多くのお子さん（未就学児は保護者同伴）を受け入れています。来館者の1日平均は300人程度で、最多で600人を越える日もあります。衛生面はもとより、室内の温度調節にも気を配るなど、保育士、職員合わせて21名のスタッフが協力し合いながら対応しています。



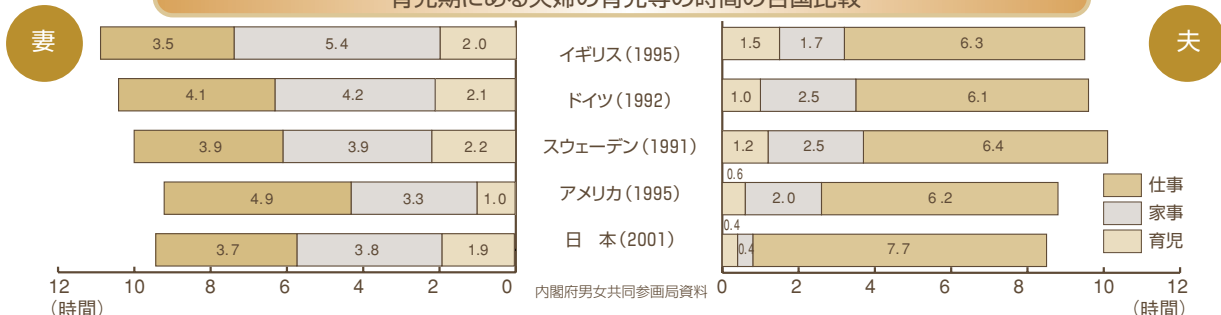
同伴の保護者として誰が？

平日はお母さん方がほとんどですが、休日はお父さんがお子さんを連れてくる家庭が多いようです。お父さんたちは“遊ばせ上手”で、お子さんの面倒をよくみています。これは、お母さんが遊ばせ下手というのではなく、普段、お母さんはお子さんと過ごす時間が多いので、とりたてて遊ばせるという意識がないと思われる。つまり、お父さんとお母さんでは、お子さんと接するスタンスに差があると思います。

どんな相談内容が多いですか？

発達の心配、基本的な生活習慣（断乳、おむつはずし等）に関するものが多いですね。最近のお母さんたちは育児書をよく読んでいますし、テレビなどからも豊富な情報を得ています。しかし、毎日の子育て上ではマニュアル通りにはいかないことも多く、悩みや心配につながっていると思います。そんな時に「子どもはそれぞれ成長の速さが違う、悩まなくても大丈夫！」と、声をかけて安心させてあげることが大切です。最近はお父さんからの相談も増えてきており、子育てへの関心が高まっているようです。

育児期にある夫婦の育児等の時間の各国比較



これからの子育てサポート体制は？

赤ちゃんを抱いたり、子守りの経験もない世代が母親になって、戸惑いながら子育てをしているのが実態です。若い世代のやり方を否定するのではなく、支援する側が寄り添うかたちで一緒に学んでいく必要性を実感しています。

男女がともに働くケースが増えている現在、これからの子育てには、男性のより積極的な参加と、地域の子育て支援の充実が求められています。

子育て子育て総合支援館

心ほがらかに 育児相談

子育ての不安や悩みの相談、子育てサークルの育成・支援をしています。
育児についての悩みを電話と面接で受けています。面接では、子どもを遊ばせながら相談したり、相談室で個人的に相談員と話したりすることもできます。

面接・電話相談／午前9時～午後7時
専用電話／0568-35-3192

助け合いのネットワークを広げて

ファミリー・サポート・センター

「子育ての手助けをしてほしい」「子育てのお手伝いをしたい」という人がお互いに助け合いながら活動する会員組織です。

入会金／500円

会員登録／講習会を受講後

援助内容／保育園、子どもの家などへの送迎。
通院、冠婚葬祭時の一時預かりなど
育児のための必要な援助

援助報酬／●午前7時～午後7時…1時間当たり700円(その他実費)

●上記以外の時間及び土、日、祝休日
…1時間当たり800円(その他実費)

電話／0568-35-3516

〒486-0945 春日井市勝川町8丁目2858番地1
勝川駅南口立体換地ビル2階
電話／0568-35-3501 FAX／0568-34-1121
開館時間／午前9時～午後7時(一時保育は午前7時30分～)
休館日／月曜日(月曜日が祝休日の場合は、翌日が休館)、年末年始

困ったときの安心サポート 一時保育

保護者などの勤務形態や病気、事故などから、家庭で子どもの面倒をみられない、そんなときの強い味方が一時保育です。保育士がお世話をしています。

対象／市内在住の生後6カ月以上就学前まで
定員／15名
申し込み／希望日の前月初めの開館日から
電話／0568-35-3501

利用時間	利用料	給食代
1日(午前7時30分～午後7時)	3,000円	300円
午前7時30分～午後0時30分	1,500円	300円
午後1時～午後7時		—



ひと昔前のように、子育ては母親の仕事だという考えの人は少なくなったと思います。しかし、どうしても子どもと接する時間が少ない父親は、子どもとの距離が遠くなりがちです。誕生した時から父親も積極的に子育てにかかわり、家事なども助け合い、子どもの成長を一つ大きな視点から見ていく存在であってほしいと思いました。小さい時から子どもとしっかりかかわっている父親は、子どもが成長し一時的に離れる時期があっても、やはり信頼できる大人としてともに歩めるのではないのでしょうか。

トピックス

2005 男女共同参画フォーラム in あいち

基調講演と対談

講師：田部井淳子 田部井政伸

「ともに歩み、ともに輝く～エベレストから30年～」

7月14、15日、名古屋市東区(ウィルあいち)にて、『男女共同参画フォーラムinあいち』が開催されました。基調講演は、1975年、世界で初めて女性としてエベレスト登頂に成功された田部井淳子さん。エベレスト登頂を果たした妻と、それを支えた夫。お二人の生き方を通して男女共同参画を考えました。小学生のときの山登りがきっかけで山に魅せられていった田部井さんは、1969年女性だけの山岳会を結成。女性だけでヒマラヤに登ることを決意して72年に登山許可が下りるのを待ち、仲間を集めていきました。

田部井さんが講演の中で特に強調されたのが、困難に陥ったとき誰かを責めるのではなく、解決策を考えられる人が大事だということ。これは登山だけでなく普通の生活にも当てはまります。例えばご飯の支度一つとってみても、ご飯が遅いと文句を言ってただ待つだけではなく、どうしたら早く食べられるか、ちょっと考えて手を貸すだけでお互いの生活が楽になるということです。登山準備と子育てで大忙しの中、夫の政伸さんは自然と手伝ってくれるようになりました。田部井さんは、そのコツとして一方的に相手に「これやって」と言うのではなく、ま



ず自分ができることを精一杯やると言われました。そうすると相手も自分ができることを探し、協力してくれることがわかったそうです。互いを思いやり助け合う関係をお二人が生活の中で徐々に築いていかれたことがよくわかりました。

講演後に行われたご夫妻と名古屋大学の金井篤子教授との対

談では、政伸さんは「本人のやりたいことをやらせたいし、自分もやりたいことをする」と話されました。政伸さん自身、長い会社生活の中で4年2カ月の休職期間をとり、山へ行ったりバイクで海外遠征したりといった経験をお持ちです。会社に休職制度を提言し、評価制度についても「休んだ期間は評価が下がってもやむをえないが、復職して頑張ったらその分認めてほしい」と言われました。「そのほうが人は頑張れる」とも。70年代、モーレツ社員がもてはやされた時代に、仕事、家庭、自分のやりたいこと、この三つをバランスよく、どれも大事にする生き方が政伸さんの話からうかがえました。

また、「皿を洗うとか洗濯物を干すとか、家事に役割分担はない。できるほうがする」「本人にしかできないことを、まず優先する」と言われたご夫妻の生き方は、とても軽やかで、自然体でした。今までの価値観に縛られない夫婦のあり方を見た思いがし

人間の安全保障・地球市民フォーラム2005

ジェンダー平等と多文化共生をめざす都市ネットワーク

セッションⅢ「ジェンダー平等と人間の安全保障—北京+10を超えて—」

7月9、10日の2日間にわたり、中部大学においてNGO実行委員会との共催で「人間の安全保障・地球市民フォーラム2005」が開催され、およそ1400人の参加がありました。

人間の安全保障の概念は国連で提唱されたもので、国家よりも人間を中心にとらえる考え方をいい、一人ひとりの権利や人権、安全が守られ、平和に安心して、心豊かに暮らせる社会の実現をめざすものです。

そのため、このセッションではジェンダーの平等、多文化の共生、都市・地域のネットワークの実現をめざして、スウェーデンを始めとする諸外国のパネリストによる活動発表が行われました。



『DVってなに?!』

DV(ドメスティック・バイオレンス)とは、一般的には夫や恋人など親密な関係にある、またはあった男性から女性に対して振るわれる暴力です(少数ではありますが、女性から男性への暴力もあります)。DVといってもいろいろな種類や程度があるので、自分が被害者(または加害者)であることに気づいていないかもしれません。チェックリストで自分を見つめ直してみませんか。

■男性から女性へのDVの場合

被害者 チェックリスト

- 彼の機嫌を損ねては大変と思い、彼の理不尽な要求を受け入れてしまう。
- 彼が怒りを爆発させて怒鳴り、暴力を振るう行為に対して、彼や彼のために第三者に謝ることがある。
- 彼の態度に恐怖を感じることもある。
- 彼から頻繁に批判されたり、馬鹿にされたりする。
- 彼からセックスを強要され、嫌なのに応じている。
- 彼から殴られる、蹴られる、髪を引っ張られる、突き落とされる、タバコの火を押しつけられる、縄で縛られる、ナイフなどで脅かされることがある。
- 彼によって親や友人に会ったり電話で話すことをはばまれている。貯金や給料の出し入れを彼に占有されている。
- 相談してもわかってもらえる人はいないと感じている。
- 根はいい人だから、暴力さえ振るわなければ何とかやっていけると思っている。

加害者 チェックリスト

- 経済力のある自分が主人なのだから、彼女は自分の考えに従うべきだと思う。
- 彼女がやるべきことをやらなかったり、生意気なことを言ったりしたときは、時には力を用いても厳しく対応しなければならないと思う。
- 自分が手を上げてしまうのは、彼女が怒りを誘発するからだと思っている。
- つい抑えがきかなくなって手を上げてしまっても、そのあとすぐに謝り、彼女も許してくれるからひどいことをしているわけではないと思う。
- 彼女への電話に聞き耳をたてたり、手紙を開けて読んでしまうことがある。
- 家の中のことを実家や彼女の友人に知られたくないと思っている。
- 彼女を殴る、蹴る、「殺す」「自殺する」と脅す、物を投げる、突き飛ばすのいずれかを複数回したことがある。
- 彼女が自分の思いどおりにならないと、激しい怒りを覚える。
- 自分がセックスを要求したら彼女が応じるのは当たり前だと思う。



チェックリストで、該当項目が6つ以上あった人は、DVの被害者、加害者である可能性が高いので、即座に援助を求めてください。4つ以上あった人は、DVがおきているのではないかもしれませんが、やはり相談が必要です。あなたはいかがでしたか?
(出典:森田ゆり著 『ドメスティック・バイオレンス～愛が暴力に変わるとき～』 小学館)

主な相談窓口

● 愛知県女性相談センター(女性悩みごと電話相談) ☎052-913-3300

午前9時～午後9時(土・日・祝日・年末年始は休み)

● 愛知県警春日井警察署 ☎56-0110(代)

● レディヤンかすがい

お問い合わせ:青少年女性センター ☎85-4188

女性相談	火曜日 午前10時～午後3時	県相談員	夫婦間のトラブル、結婚、男女問題、家庭内の不和などについて		
男女人権相談	水・金曜日 午後1時～午後4時30分	カウンセラー	性別による差別的取り扱い、セクシュアル・ハラスメント、ドメスティック・バイオレンスによる人権侵害について	☎85-7871	
女性のための	家庭相談	木曜日 午後1時～午後4時30分	家庭相談員	家庭内における子育てや女性の悩みについて	
	法律相談 (予約制)	第1・3土曜日 午前10時～正午	弁護士	夫婦間、金銭、相続など、女性の身の回りの法律問題について	注
	こころの相談	第2・4土曜日 午前10時～正午	カウンセラー	女性の不安や悩みなど心の整理への支援について	☎85-7871

注 法律相談の予約 ☎85-4188 午前9時～午後5時受付 ※ 女性相談以外は祝日も実施します。
※ 女性相談は、月曜日及び火曜日が祝日の場合休みとなります。 ※ 相談をお受けするのは、すべて女性です。

いきいき

ピープル

10年前、総合建設業・不動産業アサヒビルド株式会社に採用され、工場、マンションなどの建設現場で監督として施工、工程管理に携わっておられる建設部主任 渡邊直子さんと若月社長にお話しをうかがいました。



Q：子どものころは何になりたかったですか？

A：中学までピアノを習っていたので、ピアノの先生になりたかったです。高校時代はテニス部に所属していましたが、父親の影響で服飾関係にあこがれていました。

Q：現場監督の道を選ばれた理由を教えてください。

A：短大でインテリア関係を学びました。そのゼミの課外授業で1級建築士の女性に出会い、その積極的な仕事ぶりに建築関係の仕事がしたいと思いました。

Q：今の仕事を選んで、大変だったことは？

A：始めはヘルメットをつけるのに抵抗がありました。また、1工事に30～40の業者さんとのつながりがあり、男性を相手に話ができず困ったこともありました。スムーズに話ができるまでには約1年かかりました。また、工期が決まっているので、仕事が深夜に及ぶなど不規則になることがあります。

Q：将来もこの仕事を続けられますか？

A：ものを作り上げていく達成感や、いろいろな人とのつながりに魅力を感じています。今後も家族や会社の協力を得ながら、仕事を続けていきたいと思っています。

Q：社長さんからみた渡邊さんはどのような人ですか。

A：これからはインテリアを勉強した人が必要だと思い、意識して彼女を採用しました。仕事ぶりは粘り強いですね。やっつけ仕事をしない姿勢に感心しています。今後も大いに期待しています。

ありがとうございました。



●レポートを終えて

作業服に身を包み、落ち着いて話される姿は凛として素敵でした。これからの目標は、現在猛勉強中の1級建築士の免許取得。一つの仕事が終わるたびに「達成感」があり、仕事をやめたいと思ったことはない、明るく前向きな渡邊さんに心からエールを送ります。

あなたのお近くの**いきいきピープル**をご紹介します!!

『はるか』な^こ声^え

僕は助けてもらえるけど…

加納 孝子

僕は保育園に通っています。パパとママは毎日、会社に行きます。きのうの夜、僕は熱を出してしまいました。毎日暑いのでプールで遊び過ぎたかな？ 夜中にママは何度も僕のほっぺをさわったり、水枕を替えてくれました。でも朝になっても熱は下がりません。パパとママは顔を見合わせ「おばあちゃんに頼もうっ」。僕をパジャマのまま車に乗せて隣の街まで走りました。おばあちゃんは外まで出てきて「まあ、心配なこと。まかして」と、僕を抱いてパパとママを見送りました。

ソファーに寝かされた僕はそのまま眠りました。昼頃、目が覚めて冷たいタオルで身体を拭いて着替えをしたら、なんだかお腹が空いてきて、そうめんをおかわりして食べました。ママから心配メールが入りました。会社にも僕のことを考えているんだね。「元気になったよ」とおばあちゃんはうれしそうです。夏負けしないようにと特別なジュースを作ってくれました。少し酸っぱいけど冷たくて美味しかったよ。

夕方、パパが車を飛ばして迎えにきてくれました。今日、パパとママは何回も僕のことでもメールした。きっと働いていても僕のことを心配でたまらなかったんだ。でも僕には、いつも助けてくれる優しいおばあちゃんがいるからいいけど、いない子はどうするんだろう。どこのおうちでも、パパとママが安心してお仕事に行けるといいんだけど。

そんなにエライ？

高嶋 康子

長女夫婦は結婚以来ずっと共働きをしている。結婚当初、婿が軽々と家事をこなしているのを知った私は、いたく感心した。我が世代と比べると羨ましくもあった。

「今、彼が洗濯している」とか、「きょうは彼が夕食を作ってくれるから」などと娘が言うのを聞いて私はつい、「彼はエライ、エライねえ」を連発した。すると娘は、「どうして彼が家事をするとそんなにエライの？ 私も同じ時間、いやむしろ長く仕事で拘束されてるんだよ。それなのに私が家事をやっても当たり前で、誰も“エライ”なんて言ってくれんじゃないの」。

私は胸を突かれる思いがした。〈なるほど。その通りだ〉と思い、以後「エライねえ」という言葉を飲み込んでいる。娘らの時代には根本的に「男女は平等」という意識が根差しているのだ。世の中確かに変わってきている…と思ったのだが、その話をあるサークルで男の子を持つ母親にしたところ、「そういうのって、男の方の親から見ると…、私だったら情けなくて腹が立つと思いますよ」と言われ、〈うーん〉と、考え込んだのだった。

●みなさんからのエッセイ(500字程度)を募集しています。

なんでだろうコーナー

○×会社の
ある日…

今野「部長、今度、僕たち結婚することになりました!!」

部長「それは、おめでとう

それで矢田さん、君は結婚したら仕事はどうするの？

矢田「えっ??？」

今野「僕、専業主夫になります」

部長「……………」



〈表紙イラスト制作者のことば〉ツツノダビノクさん
「『気持ちは』は普段目では見えません。性別を考
えることは、この気持ちについて少し考えて見る
ことかなーと思いました。」

固定的性別役割分担意識にとらわれていませんか。

※「男は仕事、女は家庭」など、性別によって適した役割や能力、活動する分野があり、それを分担しあうのが当然、あるいは自然だとする固定観念をいいます。

第4回 かすがい男女共同参画市民フォーラム

かがやく個性 のびやかな暮らしを求めて

・基調講演「自分らしく生きる自由がある」

講師／樋口 恵子氏（東京家政大学名誉教授）

・ワークショップ

テーマ／「男女共同参画～ウチ（私、家族、職場、地域）のここが自慢」

コーディネーター／松田 照美氏（愛知淑徳大学講師）

樋口恵子氏をコメンテーターに迎え、参加者によるワークショップを行います。



樋口 恵子氏

■ と き/平成17年11月6日(日) 午後1時開演(午後0時30分開場)

■ ところ/レディヤンかすがい 多目的ホール

〈主催〉かすがい男女共同参画市民フォーラム実行委員会・春日井市

〈定員〉400名(超えたときは抽選)

〈申し込み〉10月24日(月)〈必着〉までに住所・氏名・年齢・電話番号《託児希望者は子どもの名前(ふりがな)・年齢・性別》を記入して、

⇒ハガキ 〒486-8686春日井市役所青少年女性課内、

かすがい男女共同参画市民フォーラム実行委員会へ

⇒F A X (0568)85-3786 ※青少年女性課内、

かすがい男女共同参画市民フォーラム実行委員会宛へ

⇒Eメール sesyojyo@city.kasugai.lg.jpへ ※件名に「フォーラム申し込み」と記入

〈問い合わせ・連絡先〉 春日井市市民経済部青少年女性課 TEL 85-6152

読者の声 - 「はるか」VOL.14について-

- 「今、介護の現場では」でヘルパーに対する男性利用者のセクハラ行為に言及してあった点に関心をもちました。
- 女性の消防職採用があったことに驚いた。現場で女性も十分活躍できるんだということを証明してほしい。
- 回を重ねるごとに、おもしろい記事が増えて楽しみです。しかし、意識改革を期待する高齢男性の手に届いているかどうかは疑問です。多方面に届くような工夫してほしいです。
- こういう冊子があるのは、いいと思います。男性にもっと目を通してもらえるといい。
- 「らしく」を大切に生きることに共感しました。

ご意見をお寄せくださいましたみなさん、熱心に読んでいただきありがとうございます。

VOL.15へのご意見・ご感想もお待ちしております。

編集後記

新聞の勧誘を受けました。「奥さん、新聞いらない?...だんなさんに聞かんとわからんかあ」。ムムッ。それくらい自分で判断できますよ。おじさんこそ、「『はるか』読まない?ジェンダーって読まんとわからんかあ」[市村]

『はるか』の編集作業を通して、表現することの難しさを痛切に感じています。でも、何事も「為せば成る」の精神でこれからも『はるか』の編集にトライしようと思います。[熊澤]

“灯火親しむべき候”この時期に新編集委員による『はるか15号』の発刊をみるのができて感無量です。激変の世相下ながら、人としての気持ちと初心を忘れず、今後に生かしていきます。[西田]

「男女の自立」という言葉が、どうしてもあてはまらない我が家。男女共同参画の委員になって私なりに理解することができました。これを機会に我が家も第一歩を踏み出したいと思います。[平田]

ジェンダーという言葉を知ったのは、もう4~5年前だったと思います。わからないまま、現在この『はるか』の編集を通し勉強中です。「まだまだ、これから」の男女共同参画を多くの方々にお伝えできればと思いました。[増田]

かすがい市男女共同参画情報紙 『はるか』vol.15
2005年10月発行

企画・編集 はるか編集委員

発行 春日井市市民経済部青少年女性課

〒486-8686 春日井市鳥居松町5-44

TEL0568-85-6152 FAX0568-85-3786

Eメール sesyojyo@city.kasugai.lg.jp

今号から新しい市民編集委員の企画・編集による「はるか」になりました。ぜひ、みなさんのご意見・ご感想をお寄せください。

また、「はるか」で取りあげたい内容がありましたら、併せてお知らせください。

100%再生紙を使用しています。



ISO14001認証取得
「環境にやさしい自治体 春日井市」